



●「アクセス」とは、情報に近づく道のこと。家庭科の先生方の日々の授業に役立つ資料を、折に触れお届けいたします。

生活の話題

開隆堂の教科書

鶴田敦子

数ヶ月まえに教科書図書館（小・中・高の全ての教科書が保存されている）にいき、現行の『家庭総合』『家庭基礎』の全ての教科書を調査する機会がありました。一つの会社の教科書の編修に携わっていると、他の会社の教科書の出来具合にすごく敏感になってしまうのですが、いくつか開隆堂の教科書の良さを確信する機会にもなりました。

その一つは、「生活を創る視点で書かれている」ということです。モノと自然と人間のかかわり、ジェンダーの平等、高齢者・障がいのある人を含む全ての人の尊厳など、人類が直面している課題や価値観をただ伝えるのではなく、新たな生活を創り出す鍵であることを他社より平易な言葉で高校生に語っていることです。また、「高校生の目線で作られている」というのも顕著です。例えば、家族や経済などで、まさに英語の現在進行形の高校生がそれらに関する考えや疑問をリード文として載せて（色を違えてある）、学びたくなるような仕掛けをしています。今ではこれに似た教科書もありますが、これを執筆者達は、長時間の討論の末に具体的に提案された執筆者（静岡大学 色川卓男准教授）のお名前を取って色川方式と自負しています。

もう一つ特徴的な開隆堂方式があります。それは「実習から学びを広げる視点がある」ということです。例えば調理実習名「炒麺・牛奶豆腐：焼売」に「市販食品を考えよう」というタイトルがついているように、実習と他の学習とのつながりが示されています。また、世界の飢餓やタイのマングローブ林やフェアトレードなどを、自国の問題としてだけでなく、「国際理解と持続可能な社会」という観点から取り上げています。



家庭科は、今とこれからの生活を自立的に営むための学びです。未来を担う高校生が手にする教科書がどんなものであったらいいか、改めて考えてみませんか。

つるたあつこ 聖心女子大学教授。開隆堂出版『家庭基礎』『家庭総合』著者。専門は家庭科教育。

特集

わたしたちの教科書

一つの教科書でも、授業での活用のされ方は様々で、一人ひとりにとっての「わたしたちの教科書」があるでしょう。今回の特集では全国の先生方から教科書へのご意見を伺い、また教科書を活用したクイズのつくりかたや、開隆堂教科書「家庭基礎」「家庭総合」の視点についてもご紹介しています。

CONTENTS

- 生活の話題  
開隆堂の教科書  
鶴田敦子  
..... 1
- 家庭科再発見  
教科書を選ぶ理由  
..... 2
- 家庭科クイズの平日  
教科書を使ってクイズをつくらう  
..... 4
- 教科書の視点  
高校生の日常生活が  
ストーリー性をもって  
描かれる「色川方式」  
..... 6
- 「色川方式」の誕生  
色川卓男  
..... 7

## 教科書を選ぶ理由

高校生に使わせたい教科書を、先生は、どのような視点で選択されるのか。教科書のどんなところが気に入って、どんな風に活用されているんだろう？ そんな思いから、開隆堂の教科書をご使用の北海道から九州までの先生方へアンケートをお願いしました。開隆堂の教科書が選ばれる理由とは何か？ 以下の3つの問いに答えていただきました。

- Q1** 教科書をどのような形で活用していますか？
- Q2** 開隆堂の教科書を選んだ理由
- Q3** 教科書で生徒に見せたいページ



高校生自身の生活から課題を見つけ、生活を総合的にとらえて、人生をデザインしていくことができる教科書です。

### 子どもへの視点があたたかい

大阪府立勝山高校 高木枝美子先生

- A1** 教科書にもとづいてプリント教材を作成しています。授業時には、生徒に教科書をみながらプリントの空欄を答えるように指示しています。
- A2** 生徒にわかりやすく書かれてあるからです。基本的なことを押さえつつ、その時代に応じた内容や用語がたくさん盛り込まれていて良いと思います。また、各項目ごとに無駄なく・理解しやすく・じょうずにまとめられていて、授業でも使いやすく、大変気に入っています。長く使用していて慣れていることもあります。
- A3** 現在2年生が使用中の「家庭総合」p.73～75の「④子どもを取り巻く環境と福祉」のところが良かったです。p.75に「学童保育所」のことが取り上げられていて、小学校以降の子どもの居場所について伝えることができるので、良かったです。1年生が使用の「家庭総合」では、p.62～65「④子ども期の保障と子どもの福祉」の部分になります。複雑な家庭環境の生徒が多いので、親が不十分であっても、それに代わる一定した大人が愛情をもって子どもにかかわる機会があれば大丈夫ということをお伝え、生徒に安心してもらいたいです。

### カラーや写真も多く見やすい

福岡県公立高校の先生

- A1** 授業展開の柱として活用している。プリント（自作）を使いながら教科書の内容を補充している。資料も新しいものが入っているので、データを読み取りながら考察させることなどにも利用している。また設定人物のロールプレイなども取り入れることができた。
- A2** 展開を考える上で、生徒が考えていく流れが上手くできていると思います。生徒が思い浮かべる疑問や思考の流れが適切であると思われます。実習等の写真ページも見やすく、カラーも入っているので生徒が手に取りやすく読みやすいと感じます。
- A3** 食生活にかかわる内容、生徒の興味・関心も高いですが、カラーや写真も多く見やすいと思います。子どもに関する内容のコラム等も生徒に身近で読ませています。

### 図表などの資料が充実している

茨城県私立高校の先生

- A1** 本校では、生徒の興味関心、今社会で起きていること、教員が生徒たちに伝えたいと考えることの接点を探りながら学びを展開していきます。その中で、教科書はいわば自分たちの学びの立ち位置を確認するためのものとして利用されています。例えば1年生の前期の授業は家族・家庭・子ども・高齢者が大きなテーマですが、教科書の第1部・第2部に関連する新聞記事の切り抜きレポート作成から始まります。これから学ぼうとする分野に関して社会で今何が起きているのかを認識した上で、問題意識を掘り起こし、グループ研究に入っていきます。
- A2** まず図表などの資料が充実していて、かつ見やすく、客観的データを用いながら生徒が学びを深めていくのに役立ちます。DV、フランスのPACS、ワークシェアリングなど今の社会を切り取るテーマが多く取り上げられていることも理由のひとつです。
- A3** 特にこのページをというのは難しいのですが、「家庭基礎」p.27「職業労働と日本の企業社会」のような囲みの資料や、発展のページは、学んだことを今の自分の生活、これからの自分の生活につなげていくために役立つと考えます。

### 小・中学校との関連がわかりやすい

北海道公立高校の先生

- A1** 授業でのメインテキストとして使用しています（他、学習ノート・資料集も使っています）。読ませたり、まとめさせたり、図・表を利用したりして実施しています。
- A2** 他の先生にわかりやすいというアドバイスを受け、自分もそのように思い選びました。小・中学校との関連もわかりやすいということもあります。
- A3** すべて扱いますし、特にはありません。

### 時代の流れにそった授業ができる

東海大学山形高校 難波睦子先生

- A1** 私の授業は、教科書・資料集・ファイル（ノート用プリント）で行っております。時代の流れにそった授業展開の中で教科書は、その中心柱となるものです。その単元で何を学んで欲しいのか？という点を明確にし、ポイントをおさえるという意味で重要な役割を担っています。教科書は、授業の最初と最後の導入と、本時のまとめの部分で使用しています。
- A2** 第一に写真が多く、鮮明で、表情が豊かな教科書であるということです。図表が見やすく、生徒の視覚に訴えることができます。導入文のところで、問題意識を明確にでき、漫画やイラストの部分で、興味関心を深めて授業を進めることができます。語句の説明がていねいでわかりやすく、辞典のようにページ番号を掲示しながら、説明することができます。新用語が詳しい内容と共に載せてあるので、時代の流れにそった授業が展開できます。
- A3** 口絵…家庭科の授業で教えたい人生の重み・深み・可能性を適切な写真とともに、わかりやすくまとめてある。授業開きの時から、見せることができる。「家庭基礎」p.30…子どもがいかにかけがえのない大切なものかを知らしめることができる。「家庭基礎」p.54～74…高齢者について、人間の尊厳という視点で、福祉の重要性を段階をおってわかりやすく説明できる。「家庭基礎」p.146～151…住居の中で、ユニバーサルデザインについての記述がわかりやすくまとめてある。「家庭基礎」p.154～155…安全について、日常生活にすぐ活用できる。

## 教科書を使ってクイズをつくろう

本誌「ACCESS」で連載中の家庭科クイズ。今回は番外編「家庭科クイズの平日」と題して、教科書を使った家庭科クイズの勧めを紹介します。教科書の中にもクイズの種はたくさんあります。「教科書で家庭科クイズ」、始めてみませんか？

### 1. 教科書でクイズをつくることができる

以前にもご案内のように(29号)、家庭科クイズは、教員の驚きから始まります。クイズをつくるのが難しいと考えている方々も、教科書の中に驚きを発見する機会は多々あると思います。たしかに1つのテーマで1セット(5~10問)を一気につくり上げようとすると大変かもしれません。しかし、授業の導入や展開での具体的説明、補足などで1~3問作成することは思ったより苦勞しないですむのではないのでしょうか。それに、私たち教員は、生徒に発問する癖がついています。これが、そもそもクイズの発端なのです。動機は立派にあります。そして、材料も教科書の中に転がっているということです。まず「はい」「いいえ」「○」「×」の発問は、生徒にとっても答えやすいと思われますし、そこから「なぜ」と理由や背景を考えていくことは、比較的スムーズにできることが多いです。このようにして、授業が展開していきます。このとき、教科書は大いに参考になると思われます。普段教科書を使用しないという姿勢で臨んでいる方も、教科書をちょっと手に取って見ると、改めておもしろいなあという材料にプチ当たるものです。だから、私たちは教科書からクイズを作成して授業を進めていく条件はほぼ備わっていると思います。「教科書でクイズ」も、そんなに難しくありません。

さて、クイズ形式を授業に採用する理由ですが、それは、以下の通りです。

- ・クイズにすると、生徒の注意や興味を喚起しやすい。
- ・クイズを通して、生徒の問題意識がはっきりしていくことが多い。
- ・クイズの出し方を教員側が精査することで、逆に授業の展開や手順が明確になる。教えたものがはっきりする。
- ・クイズの出所(記述や資料・原典など)を調べるなど少し踏み込むと、問題の背景にあるものがつかめ、教員自身が授業により興味・関心・理解を深めることができる。

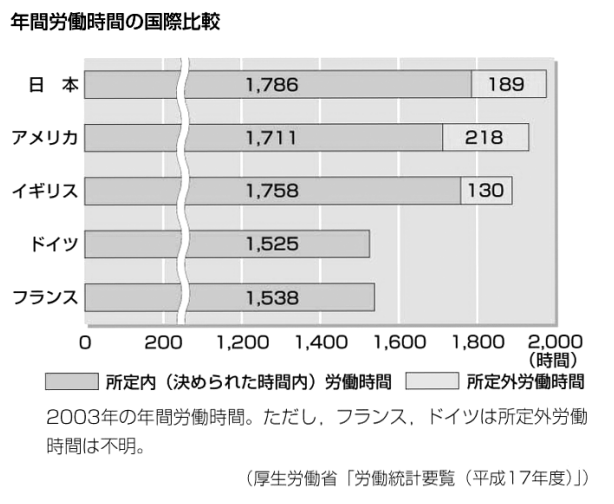
こんなことを体感しながら授業の準備をしていくのも、少しは楽しみではないでしょうか。

### 2. 教科書を基にしてつくったクイズを授業で活用する

上のようなことを期待しながら、ちょっとクイズを作ってみましょうか。

**クイズ** 日本、アメリカ、イギリス、ドイツ、フランスのうち、所定労働時間が長いのは、アメリカに次いで日本である。

これは、教科書からの資料をそのまま利用させてもらいました。



(「家庭基礎」p.22, 「家庭総合」p.25)

正解は・・・? 「×」です。

クイズの作成は、同じ「生活時間」について授業を進めていくにしても、生徒の状況に応じて、教員がさまざまに工夫の余地があります。このクイズを考えることによって、生徒それぞれに日本人の労働時間について意識づけがなされると思います。そして、これをふまえると、労働時間が長くなれば、どのような問題が日常生活の上で起こってくるかをともに考える材料ができてくるはず。つまり、教科書(「家庭基礎」p.22, 「家庭総合」p.24)の内容を中心として、生徒が考えていくということです。しかし、その内容を教員の側が単なる知識として、「ここに書いてあるよ」などといった教え方・まとめ方、教え込み方ではありません。そうではなく、たとえ教科書の記述を生徒が見たり指摘されたりしなくても、生徒が一人ひとりあるがままに、自分自身の現実をイメージしてとらえることができるはず。こうして問題の所在を明らかにしていく生徒の思考過程が尊重されるのではないのでしょうか。

職業労働時間は週休2日制の普及により短縮傾向にあるが、日本は他の先進国と比べるとまだ長い。そのため過労など働き過ぎによる健康上の問題や家族の団らんがもてない、地域社会での活動ができないなどの問題がある。(「家庭基礎」p.21)

企業中心の社会が自由時間の確保をさまたげ、家族との共通の時間をもちにくくしている。(「家庭総合」p.26)

例えば、労働時間が増えると、社会的文化的時間がまず第一に、次に家事にかかる時間が削られる。そして、家庭での団らんの時間も短くなっていく。地域活動も十分にできなくなる。さらに、生理的時間さえも、少なくなくてはならないところまで追い込まれさせる。このようなことが現象として、家族一人ひとり

が、人間らしさ・豊かさを見失っていくということになっていきます。このような内容が生徒の一人ひとりの暮らしの中で自分自身やかかわりを持っている人々を具体的に想起しながら、生徒の腑に落ちるような形で伝わっていかば・・・というのが理想です。また、このクイズやこれがかかえる問題を考えるうちに、その背景にある日本社会・国際社会で、人間の働き方にも思考をめぐらす生徒も出てくるでしょう。そこで、人間の働き方や企業のあり方についてのクイズも用意しましょう。

**クイズ** ワークシェアリングとは労働者一人ひとりの個性に適した仕事が分配されることである。

「働きすぎ」と一方の「失業」問題に対して、労働時間の短縮による「ゆとりのある生活」を取り戻し、仕事と家庭生活の調和を目指す取り組みの一つとして、ワークシェアリング(仕事の分かち合い)があげられる。ワークシェアリングとは、従業員1人あたりの労働時間を減少させることによって雇用水準の維持を目指す政策を指す。労働の分かち合いという発想で、ドイツ、オランダ、フランスなどの欧州の一部で実施されてきている。(「家庭基礎」p.27, 「家庭総合」p.33)

正解は「×」。教員にとっては既知のことでも、従業員一人ひとりあたりの労働時間を減少させることで残業などもなくし、その時間を新しい雇用者に当てる新しい発想の働き方はあまりにも知られていないのではないのでしょうか(注)。こうして、生徒は、クイズに出会い、単純な「○×」式の予想から、自分の身の状況を見直し、社会的な問題とも関係させることによって考えを深めていきます。このように、生徒を教科書の内容に誘導するのではなく、生徒がクイズを通して、試行錯誤を繰り返し、さらに問題さえ自らが立てながら、思考のプロセスを楽しんでいくことが大切だと思います。そして、結果的に導き出された判断が教科書の内容と一致するところもあった、さらに、教科書の記述を繰り返していく部分もあったといった授業展開が、一つの理想だと思います。

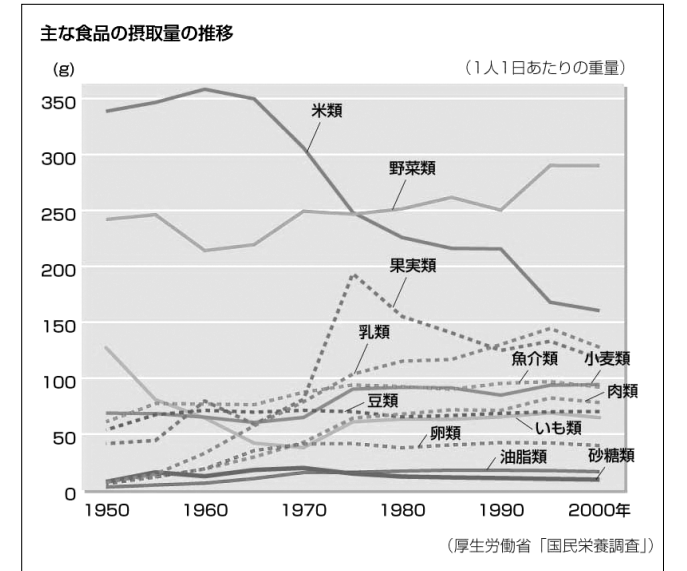
そのために、クイズの出し方や授業全体の見通しについては、状況に見合った教員の目が必要でしょう。そこに苦勞があります。しかし、クイズをつくるという作業の中で、教員と生徒の頭の中が少しでも整理され、教材研究や実践の道も進展することは確かです。教科書を使って授業する方も、そうでない方も授業をつくり上げていくという点で、教科書からクイズを取り出すことをお勧めします。

(注) ただし、教科書にもあるように、日本で進められようとしているワークシェアリングには、問題点もある。たとえば、企業の都合のよい総額人件費を抑制する方向で導入される可能性も指摘されている。労働者がサービス残業を免除され、有給休暇を完全取得できるような形で、ワークシェアリングが行われないと、家庭での生活時間だけが保障されても、現実にそれを生かす基礎となる賃金が十分に得られないということもありうるからである。(参考 熊本県地域労使支援機構「ワークシェアリングについて」)

### 3. 教科書からいっぱいクイズをつくることができる

教科書は資料がとても豊富です。クイズをつくる際、基本になる問いかけをいくつも発見することができます。そこで簡単にできる例題をいくつか作成してみました。

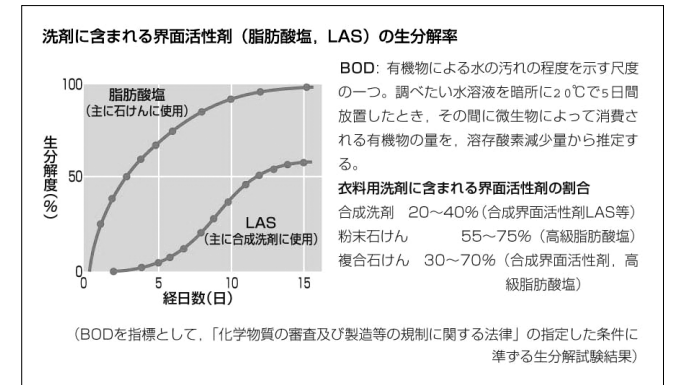
①日本人が、一日当たり最も多く食べているもの(重量あたり)は、米類である(2000年)。



(「家庭基礎」p.77, 「家庭総合」p.97)

答えは×。(ここは、問題と係わるエネルギー源だけでなく、PCF比率との関係からも見てみよう)

②石けんは使用後約15日間で約100%分解されるのに対し、合成洗剤(LAS)は約50%しか分解されない。



(「家庭基礎」p.138, 「家庭総合」p.176)

答えは○。(石けんと合成洗剤の環境に及ぼす負荷を通して、衣生活と環境を考える機会としたい)

以上のように、次から次へとクイズをつくることができますので、みなさんも、挑戦されてはいかがでしょうか。逆に生徒に問題をつくらせて、みんなで答え、考えるのもおもしろいかもしれません。

# 高校生の日常生活がストーリー性をもって描かれる「色川方式」

実際に自分の家にはお金がどのように入ってきて、どのように出ていっているのだろうか。友美は気になって、家族みんなに聞いてみた。兄はアルバイト代を家計に入れずに、自分で使っている。父や母は収入の「共通の財布」現金でもらった、と

佳苗の家の掃除機は、購入してまだ3年しかたっていない。このところ具合が悪いので修理をしようと思ったら、「修理に3週間程度かかるし、直すより買い換えのほうが安い」と言われてしまった。そこで、いろいろと製品を比較して新しいものを買ったが、何か変だと思った。たとえばドイツなどでは家電製品は、何度でも修理して長く使えるようにできていると聞いたことがある。買い換えたほうが本当に安いといえるのだろうか。

本誌p.1の「生活の話題」でも言及されていました「色川方式」とは、4人の高校生（キャラクター）とその家族や身近な人が登場して、日常生活や自分たちの願いを語ったり、疑問を投げかけたりしながら、学習のきっかけづくりをしていくリード文のことです。これによって、現実の高校生が、自らの生活や問題点と照らし合わせて共感したり、課題を見つけたりしながら、関心をもって学習に取り組んでいく仕組みになっています。ここではその具体例をご紹介します。また、「色川方式」の生みの親である色川卓男先生に、この方式が生まれたいきさつや想いを語っていただきました。

掲載箇所 ( )内は「家庭総合」の記述箇所	具体例
<b>ライフステージ</b> p.10(p.11)	「将来、家を出てひとり暮らしもしたいけど、今は食事も洗濯も親まかせで、ちょっと、自立とはほど遠い感じ」「そういえば、……」「最近では、パラサイトシングルといわれている人たちのことやニートの増加も話題になっているよね。ニートの場合は、社会との関係を築けないうちでこもってしまうタイプや、就職を前に考えこんでしまい、いきづまってしまいうタイプなどがあるんだって。でも就職したくてもできないことも原因になっているらしい」「それってなぜだろう？」
<b>家族</b> p.15(p.17)	高校生の佳苗は、留守番をしていて、国勢調査の用紙を預かった。その夜、家族と記入して、世帯という意味を初めて知った。下宿している姉は、同じ世帯ではないらしい。結婚した兄も別の世帯だ。そういえば、婚姻届を書いていた兄夫婦が、本籍をどこにしようかと言っていたけれど、戸籍とはどういうことなのだろうか。
p.18(p.21)	ある日の教室でのみんなのつぶやき。「他のことでは口うるさいのに、進路は自分で決めろだって。親としてもっと相談のってほしい。」「夫婦が仲良くないと、子どもとしては不安だよ。」「母は介護で疲れ切っている。」「わたしと父は共通の話題が全然ない。」…
<b>家庭生活と労働</b> p.20(p.23)	「〇〇先生の家は、家事や育児を夫婦で分担しているらしい。育児休暇も2人で分けて取った。」と聞いた。また「うちの父は帰りが遅く、家では何もしない。母は家のことをおろそかにしたくないと言ってパート勤めだ。」という友人もいた。そういえば、自分も家のことは何もしていないと亮太は思う。
p.23(p.28)	姉はアメリカ国籍の人と結婚して日本に住むことになった。日本では外国籍の人と結婚すると、それまでの戸籍から新しく1人だけの戸籍がつけられ、それに結婚したことが記入される。戸籍に記載されている姉の姓は今までどおりだ。届け出をすれば相手の姓になることもできる。姉の子どもは日本とアメリカの2つの国籍をもち、成長したのちにどちらかを選ぶのだ。
<b>保育</b> p.44(p.56)	「将来どう子育てしていきたい?」「子どもが小さいうちはなるべく一緒にいたいなあ。」「でも、子育てに専念するのも孤独でつらそう。」「仕事はどうする?」「自分一人ですべてするとしたら仕事との両立もきついなあ。」「保育所は子どもにとってどうなのかなあ。」…
<b>高齢者</b> p.60(p.72)	「うちのおじいちゃん、今は働いてなくて年金暮らしなのに、会うといつもおこづかいくれるんだよね。」「隣のおばあさんはまだ働いていて、たまに友だちどうして温泉に行くのを楽しみにしているよ。」
p.64 (p.76)	「近所のおじいさんが退院してきたんだけど、家の人はみんな働いているから、昼間はホームヘルパーがきて世話をしてくれるんだって。」「うちの近所でも毎朝、デイサービスセンターの車が高齢者を迎えに来てるよ。お友達が来てから行くの楽しいんだって。」
<b>人の一生と福祉</b> p.68(p.84)	「わたしは福祉のお世話になることないわ。」「そうね、福祉って特別な人のためにあるんでしょう。」「そんなことはないよ。みんな、生活のいろいろな場面で、福祉とかかわっていると思うよ。」「わたしたちにも福祉って必要なかなー。」
<b>着る</b> p.127(p.151)	友美は、夏休みにはじめて父と夏山登山に挑戦する。友美が、「山登りは汗をかくだろうから、汗をよく吸う綿のTシャツに短パンはどうか。」というと、父に「綿は濡れたときの乾きが遅いから、休憩しているときに体が冷えてかぜをひくよ。最近、濡れても乾きの速い新素材の肌着があるよ。」と言われた。「雨具はどうしよう。」「濡れても蒸れないのがいいよ。」と姉が言った。

掲載箇所 ( )内は「家庭総合」の記述箇所	具体例
<b>暮らしと経済</b> p.164(p.210)	友美は高校2年生だ。今日はいこの智恵のところへ遊びに来た。智恵は25歳。3年前、いろいろ悩んだ末にメーカーに就職し、ひとり暮らしをしている。智恵は、自立してみても初めて親のありがたみがわかったという。
p.165(p.211)	友美は久しぶりにこづかい帳をつけ始めたが、現金のほかに銀行口座の預金があり、その出し入れもある。消費税が内税なので、正確につけようとする、けっこう複雑で難しい。そこでひとり暮らしを始めてから、家計簿をつけるようになった智恵に聞くことにした。智恵は、自分の給与明細書も見せてくれた。給料からずいぶんいろいろと引かれているので驚いた。
p.167(p.214)	智恵のスポーツシューズはアメリカの会社のものだけど、生産国はマレーシアで、よく着るウェアは日本の会社のものだけど、中国でつくられている。また、乗っているスクーターはフランス製だし、そのガソリンのほとんどは中東から来る。こういうふうに見ていくと、わたしたちの生活はいろいろな国々とかわっているのだなあ実感する。
p.169(p.218)	友美の家は持ち家なのだが、建売住宅の広告を見たら、けっこう値段が高い。どのようにして家を買ったのかを両親に聞くと、5年間で頭金分を貯蓄することにし、家計簿をつけて生活費にむだがないようくふうし、安全で少しでも金利の高い定期預金をしてお金を貯めたそうだ。父に言わせると自分のこづかいをがまんしたということになる。
p.170(p.219)	智恵が大学に通っている当時、父親が突然、病気になって長期間入院し、生活費や学費などに困ったことがある。その際にアルバイトを増やしたり、急ぎょ大学から奨学金をもらうことで、何とか対応したらしい。友美は智恵からこの話を聞いて、自分の経済的生活設計を考えるときには、いろいろな経済的リスクも考えておく必要があると思った。
<b>消費者</b> p.174(p.223)	佳苗のお父さんと同じ会社に勤めていた人が自己破産したという。借金を返せなくなった本人が裁判所に申し立てて破産宣告を受けることを自己破産というそうだ。身近な人では初めてだ。どうしてそんなに借金をしてしまったのだろう。破産すると、どうなるのだろう。
<b>消費生活と環境</b> p.180(p.232)	直人は、自動販売機で買った缶ジュースを飲みながら、ふと、留学生の友人が「日本に来て自動販売機が多いのに驚いた」と言っていたことを思い出した。
p.181(p.233)	直人はえびフライが大好きだ。今日の弁当にも特大のえびフライが入っていた。大きな口を開けてかぶりついていると、いっしょに食べていた友人の佳苗が、「タイでは、えびの輸出でジャングルが機械的打撃を受けたんだってね」と言う。そんな話を聞いたこともなかった直人は、思わずかじりかけのえびフライを落としてしまった。
p.184(p.237)	直人は、だんだん環境保全に取り組むことに興味をもち始めた。文化祭がもうすぐだが、文化祭では毎年大量のごみが出る。何かできないかと考えた。一人で取り組むのはむずかしいと思ったが、友人の佳苗に話すと乗り気で、みんなでやってみようという気持ちになってきた。

## VOICE 「色川方式」の誕生

静岡大学 准教授 色川 卓男

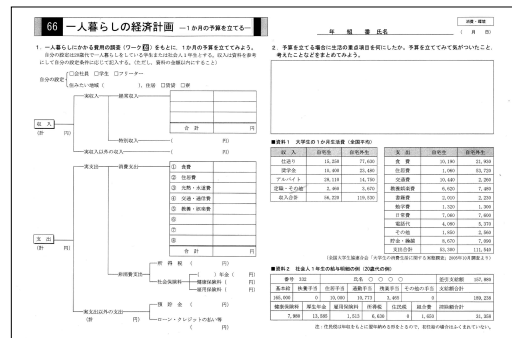


「色川方式」と呼ばれるものは、私の無知さから偶然に生まれたもので、決して誇れる話ではない。始めて教科書づくりに参加させていただいた時、高校の先生方から様々な意見を直接、伺う機会があった。その際に高校の先生からは「教科書はあるけど使わない」、「形式ばかりで読みにくい」などたいへん手厳しい意見をいただいた。事情のよくわからない私はそれらの意見をそのまま受けとめた。まず内容は他のすべての教科書で出てくるキーワードを確認した上で、最も高校生を指導するのにふさわしいものを選んだ。そして文章を読みやすくするために、私が担当した本文を物語形式にしたのである。私はニーズに沿った原稿を提出したつもりだったが、1人だけ変わったことをやっていたようだ。完成版でも私の試みを一部残していただけたのは、編集の先生方はじめ、開隆堂の編集部の方々に使える教科書をつくりたいという強い想いがあったからだと思われる。しかし私自身、この試みにまだ満足していない。これからもより使える教科書になるよう、現場の先生から率直なご意見をいただき、それを真摯に受け止めて、教科書執筆に活かしていきたいと考えている。

# 開隆堂の高校家庭科用各種教材

## 新刊 家庭科ワークシート集

- B4判 80シート
- CD-ROM1枚 Windows版  
フード・一太郎対応
- 定価 6,300円 (本体6,000円)
- ・学習場面に応じて必要なシートを複写し、生徒個々に配布して活用できる
- ・生徒の自主的・創造的な学習を促すことができる。
- ・各シートは、学習活動の内容によって、「課題」「調査/記録」「実験/観察」「計画」「技術のポイント」「発表/まとめ」「評価」「参考」などに活用できる。
- ・CD-ROMには、ワークシートの内容をデータで収録しているので、アレンジもできる。ワークシートの内容に加えて、調理の基本やミシンの操作などもアニメーションや拡大図で収録している。



## ビジュアル栄養計算Ⅱ (五訂増補版)

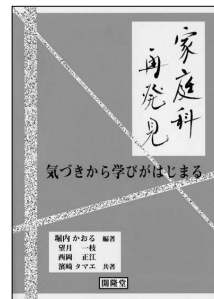


Windows XP/2000/NT4.0/98 対応  
パソコンソフト  
■定価 12,600円 (本体12,000円)  
指導の手引き (B5判/80頁) 付き  
生徒用追加CD-ROM  
■定価 8,400円 (本体8,000円)

『ビジュアル栄養計算』が五訂増補版食品成分表となってグレードアップ。ウィザードに従って操作するだけで、約1,000種類の料理データから、知りたい内容が簡単に計算でき、棒グラフやリーダーチャートで表示・判定ができます。

好評発売中

## 家庭科再発見



堀内かおる編著  
望月一枝・西岡正江・濱崎タマエ著  
■A5判  
152ページ  
■定価 1,890円 (本体1,800円)

本書では小・中・高・大学におけるスケールの大きい家庭科の授業づくりと実践の詳細が示されており、家庭科教育の意義を再発見するとともに、学習指導要領の趣旨を踏まえつつ、各学校・学級の状況に応じた家庭科の授業づくりのヒントを得ることができます。

## 家庭科 ACCESS 資料集食品成分表付き



- 口絵+見返し 14ページ
- 本文 168ページ (内 食品成分表32ページ)
- 定価 720円 (税込)

- 教科書の学習を深めるために最適な資料(66テーマ)を掲載しています。
- 豊富な統計資料を、問題提起に基づいて生徒が考えを深められるように構成して提示しています。
- 多様な価値観の中から、生徒が自主的に生活のあり方を探求することができます。
- 見開き2ページで1つのテーマを構成しています。
- 食品成分表には1食分の目安を掲載しています。

## 食品成分表 (五訂増補)

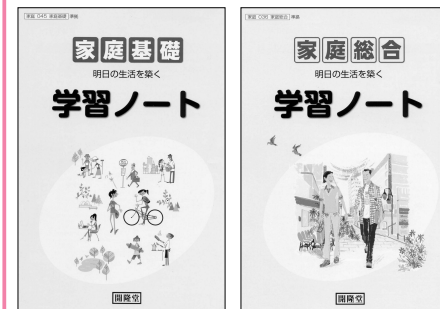


- B5判 272ページ
- 定価 730円 (税込)

- 五訂増補日本食品標準成分表の全食品のデータを収録しています。
- 日常の食生活によく出る主要食品800の写真、グラフをカラー化し、視覚的に栄養成分が理解できます。
- 食品解説や栄養と調理に関する基礎知識、食生活と健康に関する資料は、食品への総合的な理解を広げられます。
- 1食分の目安を掲載しています。

## 新刊

## 家庭基礎 家庭総合 平成19年度用 学習ノート



★教科書準拠

体様：B5判 別冊解答書付

- |                  |                  |
|------------------|------------------|
| <b>家庭基礎学習ノート</b> | <b>家庭総合学習ノート</b> |
| 明日の生活を築く         | 明日の生活を築く         |
| ■本文 96ページ        | ■本文 112ページ       |
| ■定価 500円 (税込)    | ■定価 550円 (税込)    |

ACCESS

Vol.10-3 (通巻33号)  
定価120円 (本体114円)  
送料80円

平成19年5月15日印刷 平成19年5月25日発行 編集兼発行人 山岸忠雄  
印刷所/興陽社 〒113-0024 東京都文京区西片1-17-8  
発行所/開隆堂出版株式会社 〒113-8608 東京都文京区向丘1-13-1  
03(5684)6121 [営業]、03(5684)6118 [販売]、03(5684)6116 [編集] / 振替00130-8-75296

**開隆堂出版株式会社**  
〒113-8608 東京都文京区向丘1-13-1 ☎ 03(5684)6111

北海道支社 〒060-0061 札幌市中央区南一条西6丁目11 札幌北辰ビル ☎ 011(231)0403  
東北支社 〒983-0043 仙台市宮城野区萩野町1-11-1 萩野町Mビル ☎ 022(782)8511  
名古屋支社 〒464-0802 名古屋市中区星が丘元町14-4 星ヶ丘プラザ ☎ 052(789)1741  
大阪支社 〒550-0013 大阪市西区新町2-10-16 ☎ 06(6531)5782  
九州支社 〒810-0075 福岡市中央区港2-1-5 F Y C ビル ☎ 092(733)0174